

令和3年度

第1回磐田市男女共同参画審議会 摘録

日 時	令和3年7月8日（木）午後3時00分～5時00分
場 所	市役所西庁舎3階 301・302・303 会議室
出席委員	鈴木まり子会長、永野涼子副会長、福長たか江委員、永井新次委員 鈴木真由美委員、藤森新五委員、久永公子委員、杉浦直委員 袴田くるみ委員、田中卓也委員、稲葉紗恵委員、金原正好委員
事務局	地域づくり応援課長 課長補佐、担当職員4人

[会議内容]

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 議事
  - (1)令和3年度 第2次磐田市男女共同参画プラン 推進調査票について
  - (2)第3次磐田市男女共同参画プラン素案（骨子等）について  
（ワークショップ）
- 4 閉会

[資料内容]

- 【資料1-1】 2021年度 第2次男女共同参画プラン推進調査票
- 【資料2-1】 第3次男女共同参画プラン策定スケジュール（案）
- 【資料2-2】 第2次男女共同参画プラン実施結果
- 【資料2-3】 第2次男女共同参画プラン課題事項（基本的施策別）
- 【資料2-4】 国・県・他市町のプラン骨子
- 【資料2-5】 第3次男女共同参画プラン策定方針（案）
- 【資料2-6】 第3次男女共同参画プラン素案
- 【参考資料1】 令和2年度第3回男女共同参画審議会摘録
- 【参考資料2】 第5次男女共同参画基本計画（国）
- 【参考資料3】 第3次静岡県男女共同参画基本計画（ダイジェスト版）

## [会議概要摘録]

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

(市長あいさつ)

- ・これから磐田市はファシリテーションを当たり前に行えるようにしていきたい。そして将来は「男女共同参画」という言葉を用いることなく、誰もが生き生きとした社会の実現を目指していく
- ・磐田市の課題として少子化問題がある。要因の1つに女性が育児に対して孤独感や不安感を抱いているのではないかと思う。男性が育児に対して向きあう姿勢を持つべく、まず自分自身が「イクボス宣言」を行いたいと思う

(会長あいさつ)

- ・熱海市の災害現場でも男女共同参画を意識する場面が数多くあった
- ・委員には審議会を通して磐田市の男女共同参画に貢献したという実感が生まれるようにしていきたい

### (2) 議事

#### ①令和3年度 第2次磐田市男女共同参画プラン 推進調査票について

- ・数値化できない目標設定の場合は年度末の評価方法を担当課へ確認する必要がある
- ・担当課は目標を決めるだけでなく、目標に対しての意味や目的を明確に持つことが重要である
- ・「DV等防止に向けた啓発促進」では若者や女性だけでなく高齢者に対しても目を向けてほしい
- ・講座開催や広報誌掲載等の目標は達成後の効果や市民の意識の変化まで考えて実行してほしい
- ・通常業務の中で男女共同参画を推進するための工夫をしてほしい

#### ②第3次磐田市男女共同参画プラン素案（骨子等）について

(ワークショップ)

- ・基本的施策から具体的施策のイメージができるよう、言葉を変更したり主語を加えたりする必要があると感じる
- ・基本的施策の区分けが曖昧に感じる
- ・「地域活動における男女共同参画の支援」を「社会活動における男女共同参画の支援に」に変更し、より広い活動の意味を持たせる必要がある

るのではないか

- 「職業生活における女性活躍を推進」の「職業生活」のイメージは労働している人に限られるため言葉の変更が必要ではないか